

第43回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：乳癌のがん遺伝子パネル検査の活かし方
～がんゲノム医療⇔遺伝性腫瘍医療～

2022年

11月16日 水 18:00-19:30

講師：田辺真彦先生

東京大学大学院医学系研究科 乳腺内分泌外科学 准教授
東京大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科 科長

座長：岡崎康司（難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター）
司会：新井正美（難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター）

概要：がんゲノム医療中核拠点病院の一つである東大病院では、院内スタッフによる事前検討会を毎週水曜日に、連携病院を含めたエキスパートパネルを毎週金曜日に開催しています。東大病院のエキスパートパネルの特徴の一つとして、「単なるレポート読み」ではなく、がん遺伝子パネル検査で治療や臨床試験に直結する情報が得られなかった場合にも、「では今からできるベストは何か？」を連携施設の担当医と「一緒に考えていること」が挙げられます。時間が限られているエキスパートパネルを最大限に活用いただき、かつ、必要な症例では「アフターケア」も行っています。このような日々の「がんゲノム医療」について、乳癌治療医の立場からご紹介させていただきます。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。
※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/joPs8E5AVE77qALT8>

LIVE 配信 (Zoom) にて開催
11月15日 (火) 17時締切



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター
新井/望月（内線730652/3868）
共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

